

熊谷市 中西地区 防災計画

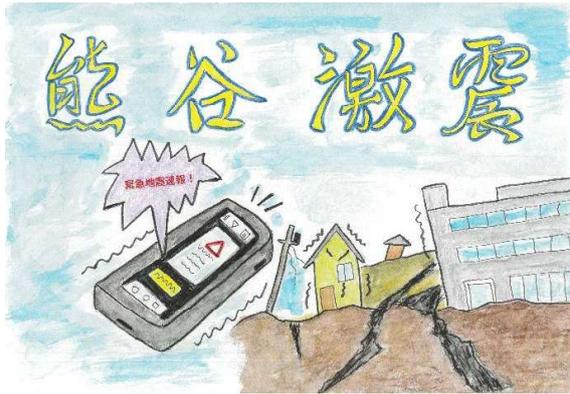
声かけあって
防災力をたかめる



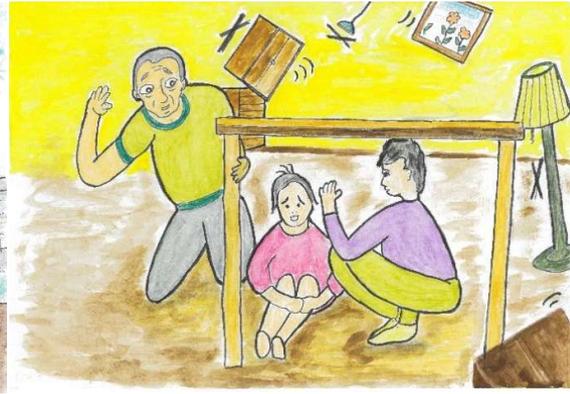
令和7年3月 保存版

目 次

1	基本方針と活動目標-----	P 3
	1.1 基本方針-----	P 3
	1.2 活動目標-----	P 3
2	計画名称と策定主体-----	P 4
	2.1 計画名称-----	P 4
	2.2 対象地区-----	P 4
	2.3 策定主体-----	P 4
3	地区の特性と災害の想定-----	P 5
	3.1 自然特性-----	P 5
	3.2 社会特性-----	P 6
	3.3 災害の想定-----	P 7
4	防災活動の内容-----	P 7
	4.1 防災活動の体制-----	P 7
	4.2 平常時並びに災害時の活動-----	P 11
	4.3 地域との連携-----	P 17
5	実践と検証-----	P 18
	5.1 安否確認訓練の実施と検証-----	P 18
	5.2 防災訓練の実施と検証-----	P 19
	5.3 地区防災計画の見直し-----	P 20
6	計画策定の沿革-----	P 20
7	帳票と資料-----	P 21
8	中西地区防災マップ	



地震だ！ どうしよう



まずは自分の命を守ろう！



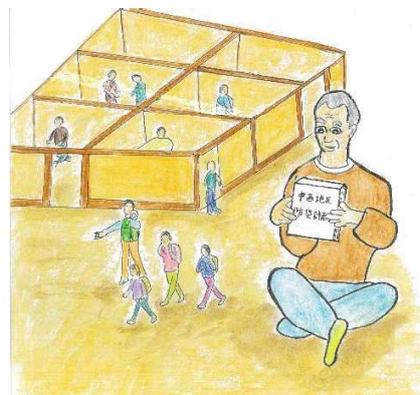
**備えとして、防災グッズ
や家具固定はおこたらず**



**避難訓練で
煙体験ハウスを体験**



**アリとキリギリスの教訓だ
そなえあればうれしいなし**



**避難所はどこ？
ルールは守ろう！**

1 基本方針と活動目標

1.1 基本方針

災害が発生したときに公助は速やかに対応できないと考えられる。阪神・淡路大震災の時は生き埋めになった生存者の約8割が「自助・共助」によって救われた。発災から72時間が生死を分ける分岐点と言われている。中西地区に居住する人々は「自分たちの地区は自分たちで守る」との心構えで防災・減災に取り組み「熊谷市中西地区防災計画」を策定し、普段から声をかけあい防災力を高めていく。

1.2 活動目標

中西地区に居住する人々のコミュニケーションを活性化させ、防災・減災に役立たせる。

- ・ 防災意識の高いまちづくり（3日分(できれば7日分)の食料備蓄・防災マップの活用)
 - ・ 防災訓練を兼ねたコミュニケーションづくり
 - ・ 中西元気くらぶ（高齢者の会）を媒体とした共助の啓蒙
 - ・ 定期的な訓練を行い災害時に備える
- ※災害時を想定した安否確認訓練を行う
- ※避難を含む減災のための防災訓練を行う



防災マップ制作のため、中西地区を見回りました。
見回りには作成に携わる立正大学生も参加しました。

2 計画名称と策定主体

2.1 計画名称

熊谷市中西地区防災計画

2.2 対象地区

中西一丁目
中西二丁目
中西三丁目
中西四丁目
上之の一部
箱田の一部
未広の一部
中央の一部

以上の地区を対象と定める。

※対象地区は防災マップを参照



2.3 策定主体

中西自治会連合会

中西第一自治会(中西第一自治会自主防災会)	77世帯	総世帯数1431
中西第二自治会(中西第二自治会自主防災会)	103世帯	人口 約3000
中西第三自治会(中西第三自治会自主防災会)	322世帯	
中西第四自治会(中西第四自治会自主防災会)	245世帯	
中西第五自治会(中西第五自治会自主防災会)	135世帯	
中西第六自治会(中西第六自治会自主防災会)	89世帯	
中西第七自治会(中西第七自治会自主防災会)	175世帯	
中西第八自治会(中西第八自治会自主防災会)	285世帯	

以上の団体により組織する（令和6年4月現在）

「熊谷市中西地区防災計画策定委員会」が主体となって定めた。

3 地区の特性と災害の想定



3.1 自然特性

3.1.1 地区特性

中西地区は熊谷市街地の北東部に位置し、田畑の多く見られた平坦な地域であったが、戦後戸建て住宅が建ち始め、現在は近郊のベッドタウンとなっている。

3.1.2 水害

熊谷市中心部の西南側を荒川が流れ、利根川が北東側約7kmを流れている。令和元年の台風19号では荒川・利根川が警戒レベル4を記録し熊谷東小学校をはじめ52箇所の避難所を開設した。避難者は10,160人を数えた。

3.1.3 地震災害

首都直下地震のうち、本市内を通る関東平野北西縁断層帯を震源とする地震が発生した場合、震度6強の揺れを観測する可能性がある。液状化の危険度は中西地区東部でやや高いものの、その他では殆ど低いと想定されている。平成23年の東日本大震災では熊谷市の最大震度は震度5強を記録し屋根瓦の被害が多く発生した。

3.1.4 火災

熊谷市は関東平野の中央、埼玉県北部に位置し、冬季は西からの季節風が強く、乾燥も著しく火災が起きた場合の影響は計り知れないと考えられる。

3.1.5 風害

平成15年の大麻生広瀬地区では強風によりゴルフ練習所が倒壊して竜巻の恐ろしさを痛感した。

平成25年にも御正新田から北に向けて竜巻の被害が発生した。

3.2 社会特性

3.2.1 地区特性

中西地区は無秩序な住宅開発により道路事情は現在の車社会では生活に支障をきたす区域も見受けられる。発災の際には避難経路にも支障をきたし消防活動や救助の妨げになる可能性がある

3.2.2 水害

中西地区は浸水による被害は0～0.5～1.17m(国土交通省HP「浸水ナビ」より)と想定されている。荒川から約1.5kmの位置にあり、その間にはJR高崎線や国道17号があるため、堤防の決壊や越流による家屋倒壊等の影響は考えられない。これまで数か所の浸水箇所があるが避難するほどの被害は発生していない。

3.2.3 地震災害

中西地区は木造2階建ての住宅密集地区で新耐震基準(昭和56年)前の建物もあり、また狭隘道路や行き止まり道路も多く、火災が発生した場合は消防車の進入にも支障をきたし、想像を超えた被害が発生すると考えられる。

3.2.4 火災

中西地区では地震による火災の発生が最大の脅威と考えられる。発災の季節や時間帯にもよるが建物の構造(木造)は被害の拡大に大きな影響を及ぼすと考えられる。地区内には都市計画による防火地区指定も無く、今後の都市計画の検討も必要と思われる。

3.2.5 風害

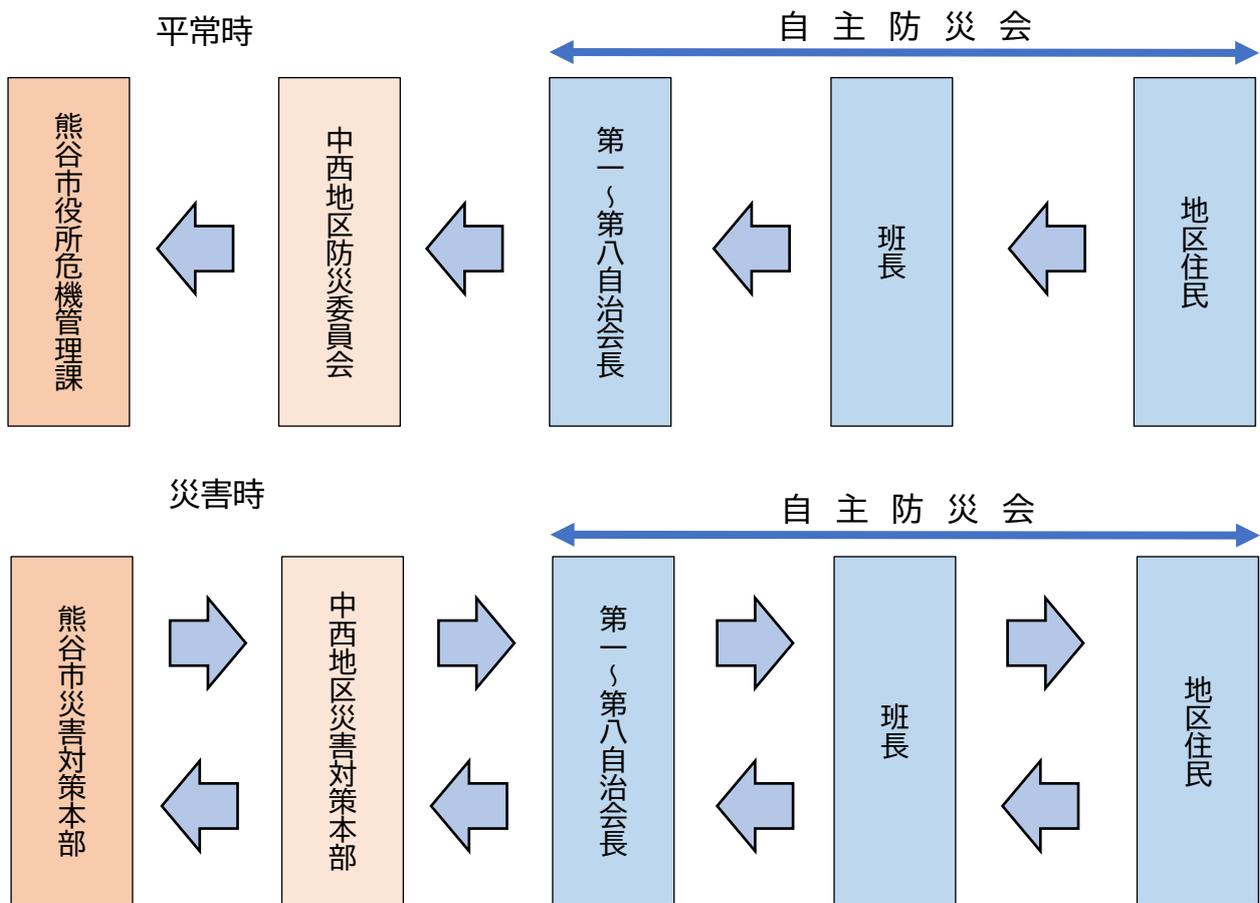
中西地区は季節風による強風の影響はあるが、災害に及ぶような強風は今のところ発生していない。竜巻等は地形的な条件もあり、平野は地表の起伏による抵抗が少なく、竜巻が進行しやすい。中西地区では台風による影響が懸念される。

3.3 災害の想定

水害・風害は、ある程度事前予測可能な災害であるが、地震は予測不可能であり条件が重なると甚大な被害になる可能性がある。今回の中西地区防災計画は「地震及びそれに伴う火災に焦点をあてた地区防災計画」とすることにした。

4 防災活動の内容

4.1 防災活動の体制



防災訓練の様子

4.1.1 防災委員会

防災活動は各自治会から選出された防災委員が主体となって、各自治会の自主防災会役員と共に平常時ならびに災害時の防災・減災のとりまとめを行う。

中西地区防災委員会要綱

名称

第1条 本委員会は、中西地区防災委員会(以下「委員会」という)と称す

目的

第2条 委員会は、中西地区の防災計画見直しや防災活動等、同地区の防災・減災に取り組むことを目的とする

組織

第3条 委員会は、中西地区自治会連合会員により組織し、委員長及び委員に寄り構成する

委員長は会務を総括し、必要に応じ役務担当者を決める

委員長に不都合ある時は指名を受けた委員が職務を代行する

委員は別表に掲げるものをもって充てる

会議

第4条 会議は委員長が招集し議長となる

委員は指名する者を代理で出席させることができる

委員長は必要に応じて委員以外のものを出席させることができる

委任

第5条 この要綱に定めるもののほか必要に応じて委員長は別途定めることができる

この要綱は令和7年4月より施行する



中西地区防災委員会 組織図(令和7年4月より)

別表

	役割	氏名	自治会	備考
1	委員長		第八	第八自治会長 自治会連合会会長
2	委員		第一	第一自治会長 防災士
3	委員		第二	第二自治会長 避難所運営担当
4	委員		第三	第三自治会長 防災士
5	委員		第四	第四自治会長
6	委員		第五	第五自治会長 救出救護担当
7	委員		第六	第六自治会長
8	委員		第七	第七自治会長
9	委員		第一	災害対策本部 情報担当
10	委員		第三	災害対策本部 消火担当
11	委員		第四	災害対策本部 避難誘導担当
12	委員		第七	災害対策本部 給食給水担当
13	委員		第八	災害対策本部 給食給水担当
14	委員		第六	災害対策本部 防犯パトロール担当
15	委員		第六	災害対策本部 防犯パトロール担当
16	委員		第八	地区社会福祉協議会会長
17	委員		第八	民生児童委員 要支援者避難
18	委員		第五	防災士
19	委員		第八	防災士



災害時安否確認の図



4.1.2 自主防災会役員

各自治会の自主防災会役員は防災委員と共に平常時ならびに災害時の防災・減災のとりまとめを行う。毎年、自主防災会役員一覧表を作り継続的な対応を行う。

自主防災会役員一覧

令和 年度

担当班	防災委員	第一～第八自治会担当役員
情報班 連絡先		
消火班 連絡先		
救出救護班 連絡先		
避難誘導班 連絡先		
避難所運営班 連絡先		
給食給水班 連絡先		
防犯 パトロール班 連絡先		



東小学校で開催の
炊き出し訓練の様子



4.2 平常時並びに災害時の活動

4.2.1 防災委員及び自主防災会役員の活動

○平常時の活動

地震災害を想定した安否確認訓練と防災訓練を毎年行う。また行政の行う防災・減災のための研修や行事に積極的に参加するとともに、防災委員や自主防災会役員相互の研修を必要に応じて行う。

○災害時の活動

安否確認からなる情報収集や救出救護及び初期消火活動への対応。避難活動及び公助では賄いきれない避難所運営に関わる活動。また、被災地ならびに避難所の防犯活動等を積極的に行う。

なお、避難行動要支援者への避難活動に関しては民生委員ならびに自治会長の指示により行う。



○防災委員と自主防災会役員の活動内容

活動組織	平常時の活動	災害時の活動
中西地区 災害対策本部	全体調整 公的機関等との事前調整 広報活動や啓蒙	全体調整 公的機関等との調整 被災・避難状況の全体把握
情報班	防災知識の習得 防災マップの整備点検 情報収集、情報伝達の訓練 情報収集、情報伝達ツールの把握 防災講習会の開催	公共機関等からの情報収集・伝達
消火班	資機材（消火器、バケツ等）の整備点検 初期消火訓練	初期消火 消火活動支援
救出救護班	資機材（バール、梯子等）の整備点検 AED 操作方法の習得 簡易担架の作成、搬送方法の習得 応急手当の知識習得 救出・救護訓練	負傷者の救出・応急手当救護所への搬送
避難誘導班	避難経路の確認（複数経路） 危険個所の確認 避難誘導訓練 避難行動要支援者の把握	避難場所への誘導
避難所運営班	避難所開設・運営マニュアルの確認 避難所の現状把握 世帯、世帯構成の把握 避難所開設・運営訓練 避難所運営ゲーム（HUG） 仮設トイレの組み立て	避難所運営支援
給食給水班	食料の備蓄 飲料水の備蓄 ローリングストック法の周知 炊き出し訓練 給水訓練	避難場所での炊き出し等 給食・給水活動
防犯パトロール班	各自治会で防犯パトロールを実施 防犯用具（帽子、腕章等）の整備点検	被災後の区域内見回り 避難所見回り
民生委員	避難行動要支援者の把握	避難行動要支援者の支援

4.2.2 地区住民の活動

情報収集

※赤字は防災訓練で体験できます

平常時

- ・ 防災マップの参照・安否確認訓練の参加
- ・ 熊谷市メール配信サービス（メルくま）の登録
- ・ 災害用伝言ダイヤル（171）の体験
- ・ 防災ラジオの常時使用

災害時

- ・ 「メルくま」から情報収集
- ・ 安否確認による被害状況の報告
- ・ 災害用伝言ダイヤル（171）の確認
- ・ 防災ラジオ（FM クマガヤ 87.6MHz）からの情報収集



消火活動

平常時

- ・ 消火器を使用した消火訓練
- ・ バケツ消火リレー



災害時

- ・ 自宅の出火防止
- ・ 近隣に声掛けなどで初期消火活動
- ・ バケツリレー消火



救出救護活動

平常時

- ・心肺蘇生法訓練（心臓マッサージ）
- ・AED操作訓練
- ・簡易担架の作り方、搬送訓練



災害時

- ・負傷者の救急措置、応急手当
- ・簡易担架、車いすによる負傷者救出

避難誘導

平常時

- ・避難経路の確認 ・危険区域の把握
- ・煙体験ハウス
- ・集合場所を決めておく

災害時

- ・避難所の安全確認
- ・避難経路の安全確認
- ・近隣の手助けをする



避難所運営

平常時

- ・避難所の位置把握
- ・仮設トイレの組み立て訓練

災害時

- ・給食給水活動の協力
- ・運営協力

○避難した時

- ・わがまは言わない。ルールは守る

※障害特性など、本当に必要な支援の場合がある。話しやすいよう配慮し、状況に応じ複数人で対応する。



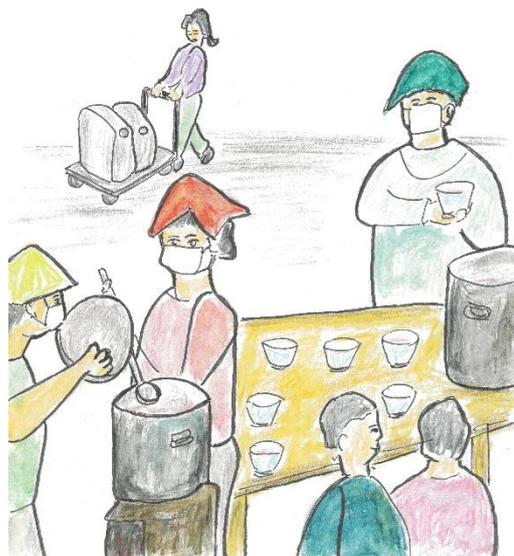
給食給水活動

平常時

- ・炊き出し訓練
- ・一人3日分(できれば7日分)の食糧確保
- ・ローリングストックの運用

災害時

- ・避難所運営の協力
- ・炊き出し活動協力



防犯活動

平常時

- ・各自治会による日常の防犯パトロール
- ・地域を熟知(防災マップの活用)

災害時

- ・被災地、避難所の防犯パトロール



防災は「あなた」が主役

**みんなが率先して協力し
防災・減災に努めましょう**

4.3 地域との連携

被災時に地域との連携で利用可能な避難場所・避難所及び緊急連絡先を以下に示す。必要に応じ、熊谷市役所や熊谷警察署・熊谷消防署等管轄の公的機関等との連携を確保する。

※発災時は公助の機能不全を招く恐れがあるため電話はしない。
避難所開設状況については、まず裏表紙の二次元コードを確認する。

避難場所・避難所	施設名	所在地	電話番号
一時避難場所 (地区指定)	中西公園	中西 3-2378-1	
	上之公園	上之 1774-2	
一時避難場所 (市指定)	箱田第1公園	中央 2-219	
	箱田第2公園	中央 3-169	
	箱田第4公園	中央 1-148	
	中央公園	宮町 2-39	
第一避難所	熊谷東小学校	末広 3-4-1	048-521-0017
	熊谷西小学校	中央 1-1	048-521-0016
	成田星宮小学校	上之 2810-1	048-521-0276
第二避難所	富士見中学校	中央 3-103	048-521-0314
	熊谷女子高等学校	末広 2-131	048-521-0015
広域避難所	熊谷スポーツ文化公園	上川上 810	048-526-2004
	熊谷荒川緑地	熊谷 2553-2	
福祉避難所	箱田高齢者・児童 ふれあいセンター	中央 1-149	048-523-1081

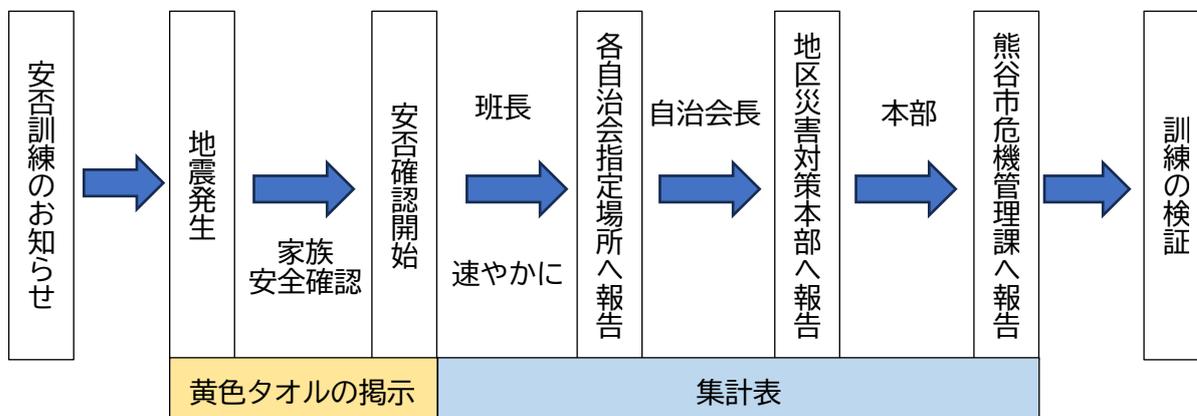
中西地区 緊急連絡先一覧

緊急連絡先	名称	所在地	電話番号
災害対策本部	熊谷市役所	宮町 2-47-1	048-524-1111
消防	中央消防署	末広 2-134	048-528-0119
	熊谷市消防団成田分団	上之 806-1	
病院	熊谷総合病院	中西 4-5-1	048-521-0065
	熊谷外科病院	佐谷田 3811-1	048-521-4115
	熊谷慈恵病院	石原 3-208	048-521-0321
交番	上之交番	上之 1021-4	048-524-7081
	熊谷駅前交番	筑波 2-112	048-522-1349
	熊谷中央交番	桜町 1-1-1	048-521-7532
水道	熊谷市上下水道部	原島 1031	048-520-4132
ガス	東京ガス 埼玉支社	さいたま市南区 沼影 1-20-1	0570-002211
電気	東京電力 熊谷支社	筑波 1-113	0120-995-007
電話	NTT 東日本関信越熊谷営業支店	末広 1-13	0120-097-147
	災害用伝言ダイヤル（伝達時）		171-1
	災害用伝言ダイヤル（確認時）		171-2
その他	熊谷東公民館	末広 2-134	048-527-5020

5 実践と検証

5.1 安否確認訓練の実施と検証

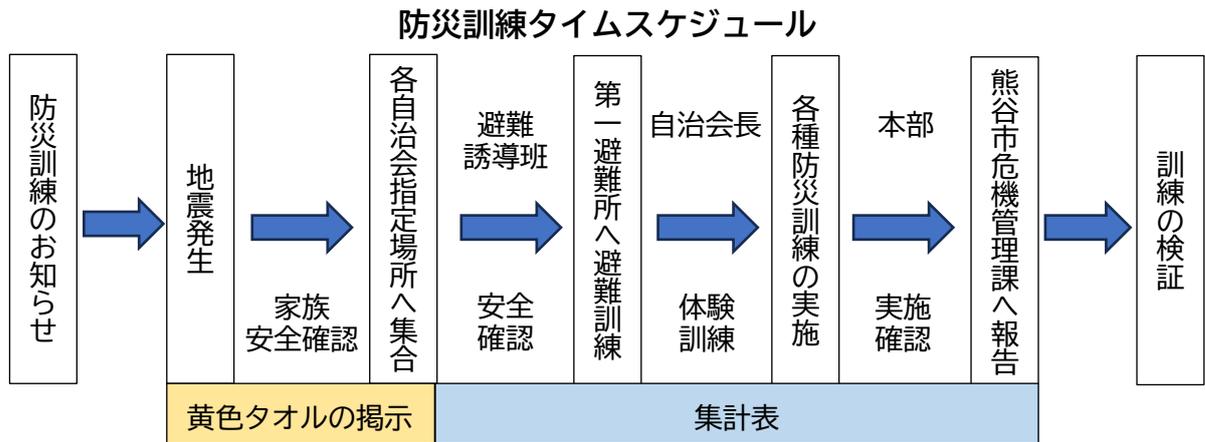
安否確認訓練タイムスケジュール



災害時安否確認訓練 検証記録

回数	訓練日	世帯数	タオル有	出し忘れ	不在世帯	掲出率%	検証
1	2020年 10月11日	1356	1097	122	137	81	初回の訓練で、調査を忘れた班長がいた。配布チラシを掲示した世帯あり。班長訪問時にタオルを出した世帯をタオル有とした等、様々な問題提起になった。
2	2021年 9月5日	1331	1044	188	99	78	班長の意識の高さにより掲示率が飛躍的にアップした自治会があった。全体的には班長の出し忘れの判断を徹底したので掲出率が下がった。共同住宅の対応が難しい。
3	2022年 9月4日	1274	965	198	111	76	コロナ禍3年目であるが掲出率は変わらず防災に対する意識の高さを感じられた。
4	2023年 10月22日	1235	926	204	105	75	5月8日にコロナの対応が変わり、防災訓練と連動した訓練となったのでタオルを掲示したまま避難をした。家族で連携して避難した等意義有る訓練になった。
5	2024年 9月1日	1212	938	192	82	77	住民がタオルを家にしまう時間が未定なので11時とした。班長が不在で代理が不徹底。

5.2 防災訓練の実施と検証



防 災 訓 練 検 証 記 録

回数	期 日	場 所	参加人数	体験コーナー	防 災 訓 練 の 検 証
1	2015年 11月1日	東小学校 校 庭	411名 (避難訓練者 約350名)	成田消防分団放水実演 炊出し (非常食・ラーメン)	・初めての防災訓練のため、準備不足もあったが、役員の協力により事故もなく初期の目的は達成した。 ・避難訓練は自治会ごとに集合場所・時間を決め、リーダーの誘導により避難場所(訓練開催会場)に到着した。
2	2016年 6月5日	東小学校 校 庭	430名 (避難訓練者 約360名)	起震車体験 炊出し(おにぎり・豚汁)	・避難訓練はスムーズに行われたが、自治会によっては列が長くなり、遅い人に合わせる配慮が大切と分かった。 ・避難場所(開催会場)では点呼を取り、昼食券とペットボトルを支給して開会式に臨んだ。
3	2017年 6月4日	東小学校 校 庭	448名 (避難訓練者 約380名)	成田消防分団放水実演 炊出し(カレーライス)	・入場は東小学校正門一か所とし、決められた場所に整然と整列された光景は見ても気持ちがいい。 ・回数を重ねると参加者も役員も訓練の効果を感じる。
4	2018年 6月3日	東小学校 校 庭	486名 (避難訓練者 約410名)	成田消防分団放水実演 炊出し(うどん・豚汁)	・今回は要支援者のための車椅子20台準備しての避難訓練を行った結果、空きの車椅子が散見された。 ・体験者の感想では、道路事情により乗心地が違うことがわかった。
5	2019年 6月2日	東小学校 校 庭	502名 (避難訓練者 約420名)	成田消防分団放水実演 炊出し(すいとん)	・空きの車椅子がないよう指導をした結果、全ての車椅子で乗車体験され、要支援者への理解度が深まった。 ・避難場所に近い自治会は、役員が車椅子に乗る人の自宅まで出向き、玄関先から車椅子に乗せ誘導した。
	2020年			新型コロナウイルス感染予防のため防災訓練は中止！ 10月11日に 第一回 災害時安否確認訓練を行った	
	2021年			新型コロナウイルス感染予防のため防災訓練は中止！ 9月5日に 第二回 災害時安否確認訓練を行った	
	2022年			新型コロナウイルス感染予防のため防災訓練は中止！ 9月4日に 第三回 災害時安否確認訓練を行った	
6	2023年 10月21日	東小学校 校 庭	411名 (避難訓練者 約380名)	煙体験ハウス 消防車の見学 炊出し五目ご飯(非常食)	・災害時安否確認訓練と連続して行ったので実際の発災時に即応した防災訓練が出来た。 ・各自治会2台の車椅子を使って避難を行った。
7	2024年 6月9日	東小学校 校 庭	435名 (避難訓練者 394名)	煙体験ハウス 消防車の見学 炊出し(けんちんうどん)	・スタンプラリーを取り入れ様々な体験をしてもらった。 ・避難場所に一番遠い自治会は想定以上の避難時間がかかるので、全体の行程の見直しが必要になった。 ・歩行がやや不自由な避難者が車椅子があることを知らずに参加を断念していたことが分かり今後の対策とする。

5.3 地区防災計画の見直し

中西地区防災計画は必要のあるとき随時見直しを行う。

今回は「地震及びそれに伴う火災による災害」を主体に取組んだが、他にも災害は発生する。今後、この計画の見直しは必要に応じて防災委員会により対応する。

6 計画策定の沿革

平成26年 熊谷市立熊谷東小学校の子供会が閉会し地域の連携が乏しくなることを懸念して、平成27年に中西自治会連合会主催による中西地区の防災訓練を主体とした防災運動会を開催しました。

平成28年に熊谷市のハザードマップが更新され、令和元年には台風19号による避難情報が発令されて防災意識の高まるなか、中西自治会連合会により「熊谷市中西地区防災計画」の策定を始めました。しかし翌年新型コロナウイルスの感染防止のため足踏みせざるを得ない状況となりました。

このような環境下でも実施可能な、黄色いタオルを目印にした安否確認訓練を始め今年で5回目となり、防災運動会は令和5年に再開し今年7回目(3年間中止)を迎えました。

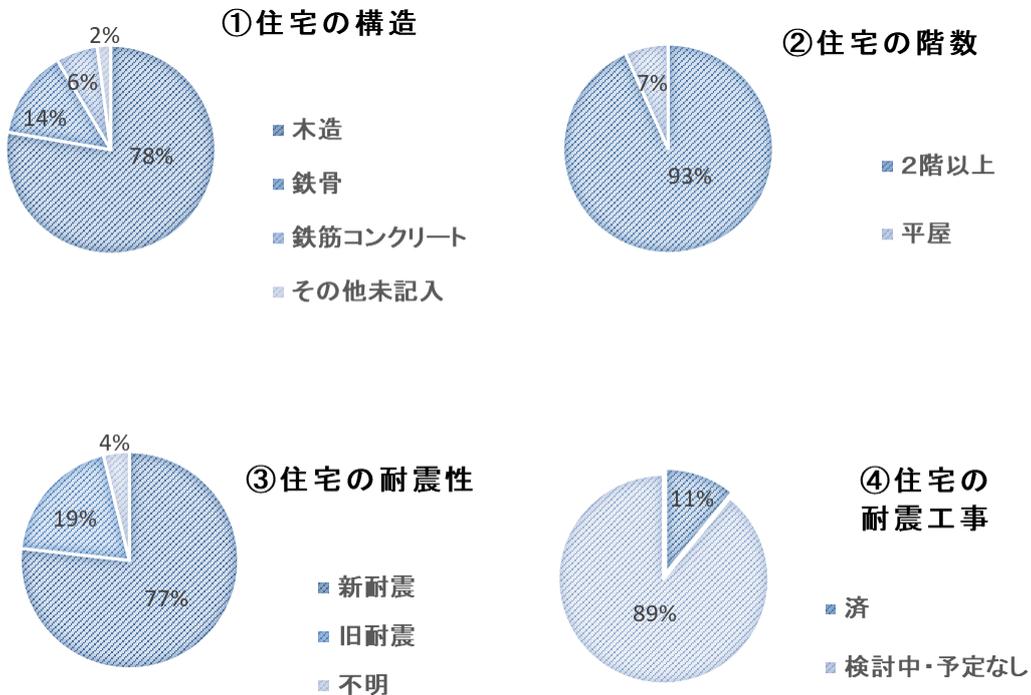
その間 多くの意見を出し合い、地区住民の協力により、今回の防災計画書をまとめることが出来ました。

防災運動会は地区防災計画策定と連携し、老若男女が参加する地区の重要な催しとなりました。これからも多く住民の防災・減災に繋がるよう地区の輪を広げて定期的に訓練等を行い「熊谷市中西地区防災計画」の進展に取り組んでいきます。

7 帳票と資料

アンケート調査による中西自治会連合会内の住宅の構造

項目	戸数	摘要	アンケート調査（令和2年4月20日～4月30日）			
			自治会名	世帯数	回収数	回収率
①住宅の構造	819	木造				
	145	鉄骨造	中西第1自治会	82	80	98
	68	鉄筋コンクリート	中西第2自治会	108	33	31
	22	その他未記入	中西第3自治会	289	222	77
②住宅の階数	69	平屋	中西第4自治会	227	166	73
	965	2階以上	中西第5自治会	130	111	85
③建築年度	202	昭和55年以前	中西第6自治会	93	83	89
	799	昭和56年以後	中西第7自治会	176	117	66
	40	不明	中西第8自治会	284	211	74
耐震診断の実施	176	診断済	ダイヤモンドM.	32	22	69
	815	診断未済	合 計	1421	1045	74
④耐震工事の実施	33	実施済	数字は個人の意思を尊重しアンケートに記された数字とした			
	26	検討中	ダイヤモンドM. は鉄筋コンクリート造5階建			
	244	予定なし	ダイヤモンドM. は中西地区防災計画策定から後日退会した			



熊谷市には昭和56年5月31日以前の着工で、旧耐震基準により建築された二階建て以下の木造住宅について耐震診断と耐震補強工事に補助金制度があります。

○中西地区の防災倉庫

第三自治会(熊谷東小学校敷地内北)

第四自治会(熊谷市土地区画整理事務所付近)

第五自治会(中西公園南付近)

第七自治会(箱田第一公園内)

第八自治会(上之 2089)

中西公園

熊谷東小学校(東小学校区全体の防災倉庫)

防災倉庫 資機材一覧表

所在		第三自治会	第四自治会	第五自治会	第七自治会	第八自治会	中西公園	熊谷東小学校	合計	
鍵保管者		■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■ ■	■ ■	■		
機材名		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	単位
避難所機材	エマージェンシーブランケット			10					10	枚
	簡易ベッド							1	1	台
	災害用トイレ(車いす対応)							3	3	基
	段ボールベッド							3	3	個
	テント(大型)	2					2		4	張
	テント(カーテン・屋根付き)							1	1	個
	テント(災害用ワンタッチ)							3	3	個
	テント【間仕切り】 2ROOM							4	4	張
	トイレ(簡易)	3		4					7	枚
	簡易トイレセット	1				1			2	式
	トイレトーパー							12	12	個
	避難所ボックス(開設グッズ)							1	1	箱
	毛布						4	720	724	枚
冷感敷パッド(寝具)							5	5	枚	

防災倉庫 資機材一覧表

所在	第三 自治会	第四 自治会	第五 自治会	第七 自治会	第八 自治会	中西 公園	熊谷東 小学校	合計		
鍵保管者	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■			
機材名	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	単位	
工具(一般)	一輪車					1		1	台	
	エンジンオイル						1	1	L	
	かけや(杭打用)		1					1	個	
	ガソリン		2				8	10	L	
	ガソリントank	1		1			1	3	缶	
	鎌						10	10	本	
	脚立	1						1	台	
	草刈り機		1					1	台	
	ジャッキ				1				1	基
	スコップ(角)(大)		4						4	本
	スコップ(小)	1					2		3	本
	スコップ(大)	1	4		1		3		9	本
	スコップ(雪)						1		1	本
	側溝清掃具		2						2	個
	タイヤ						10		10	個
	ツルハシ		1				1		2	本
	土嚢袋		27			60			87	袋
	なた				1				1	本
	のこぎり				1				1	本
	パール	4	2	1	4		1		12	本
	バケツ(金)(小)	2			10				12	個
	バケツ(金)(大)	4			10	3	3		20	個
	バケツ(ポリ)	2							2	個
	はさみ			1					1	個
	ハンマー(大)				1		1		2	本
	リヤカー	1	1		1	1		1	5	台
	ロープ(100m)		1						1	本
	ロープ(3mm)	1							1	本
	ロープ(50m)		1						1	本
	ロープ(6mm×10m)	1			1				2	本
ロープ(6mm×20m)	2	1						3	本	
工具(電気)	USBケーブル						6	6	本	
	USB充電器						1	1	個	
	発電機	1	1	1		2	1	6	基	
	乾電池(単一)	3	4個				10個	3	パック	
	乾電池(単三)	1	4個				20個	1	パック	
	乾電池(単二)	2	4個				10個	2	パック	
	照明器具	3	3	1			7	14	台	
	ソケット6P		1				5	6	個	
	投光器一式						1	1	セット	
	配線コード		30				10	60	100	m
	バルーン投光器						1	1	台	
	ポータブル蓄電池						1	1	台	

防災倉庫 資機材一覧表

所在		第三 自治会	第四 自治会	第五 自治会	第七 自治会	第八 自治会	中西 公園	熊谷東 小学校	合計	
鍵保管者		■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■		
機材名		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	単位
情報 機器	拡声器(小)	1	1	1					3	台
	拡声器(大)	1			1			1	3	台
	特設公衆電話機							2	2	台
	トランシーバー							2	2	個
	ラジオ(携帯)		1				1	2	4	台
給食 給水	エプロンビニール					1			1	箱
	おたま				6				6	個
	お椀(ポリ)				300				300	個
	ガスコンロ	1	2				1		4	個
	ガスホース		2						2	本
	ガスボンベ						5		5	本
	釜(小)					2			2	個
	釜(大)				5	2			7	個
	コップ(紙)			100	500				600	個
	食器(スプーン, 皿, 丼, カップ)							500	500	セット
	皿(紙)			100					100	個
	しゃくし				1				1	個
	炊き出し用かまど				1			1	2	セット
	調理用ストーブ	1							1	個
	電気コンロ			1					1	個
	電気ポット							2	2	個
	鍋		2	1					3	個
	非常食					40		200	240	食
	ビスケット							480	480	食
	包丁				1				1	個
	包丁セット				1				1	セット
まな板				2				2	個	
割り箸				500				500	膳	
避難 具	カート		1						1	台
	車椅子		1				4		5	台
	背負い式救出機材							1	1	セット
	担架	1	1		1				3	台
救護 具	救急箱	1			2	1			4	箱
	薬缶(大)	1					1		2	個
	三角巾	1			1	6			8	20入
	非接触式電子体温計							2	2	個

防災倉庫 資機材一覧表

所在		第三 自治会	第四 自治会	第五 自治会	第七 自治会	第八 自治会	中西 公園	熊谷東 小学校	合計	
鍵保管者		■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■		
機材名		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	単位
備 品	合図灯							2	2	個
	軍手	2	3		10				15	ダース
	ごみ袋	5							5	袋
	ごみ袋(70L)							100	100	枚
	三角コーン重し		5						5	個
	事務用品					1			1	箱
	消火器	2				6			8	台
	ステッカー								0	枚
	スリッパ							150	150	足
	タオル/手ぬぐい				195			100	295	枚
	ティッシュ	26					20		46	箱
	テープ(クラフト)	1							1	個
	テーブル(折り)						3		3	卓
	テーブル(座卓)					5			5	卓
	テーブル(レジャー)				1				1	卓
	布テープ	6							6	個
	ビニールひも				200				200	m
	パトロール用チョッキ		40						40	個
	パトロール用帽子		29						29	個
	パトロール用ライト		25						25	個
	ハンドジェル(500mL)							2	2	本
	ブルーシート(3.6m×5.4m)							10	10	枚
	ブルーシート(小)	2			1				3	枚
	ブルーシート(大)	1	8		2	4			15	枚
	ブルーシート(中)	1	19		3				23	枚
	標識プラカード						20		20	札
	ビニール袋				600				600	枚
	レジ袋	100						2000	2100	枚
	風呂敷				27				27	枚
	ヘルメット				10	5			15	個
	箒				2		2		4	本
	ホワイトボードシート							2	2	個
	ホワイトボード用イレーザー							4	4	個
	ホワイトボード用マーカー							1	1	セット
	マット(アルミ)	2						8	10	枚
	水(500cc)		24					120	144	本
水タンク(10L)		3						3	個	
水タンク(20L)	2		1					3	個	
養生テープ(25m)							10	10	個	
ラップ				10			10	20	巻	
ローソク							10	10	本	
腕章				36				36	枚	

災害時安否確認訓練実施要領

1. 名称

災害時安否確認訓練

2. 目的

災害発生時の初期段階において地区住民の安否状況を的確に把握し、中西地区の第一から第八自治会（以降は各自治会という）の自主防災会が協力して被災者の救出救護や初期消火などができるような支援体制の確立を図る

3. 日時

原則、毎年9月上旬の日曜日の9時から11時まで（雨天決行）
防災訓練と同時に実施する場合や、やむをえない事情がある場合は日時の変更を可とする
また、災害発生または異常気象等により災害が発生する恐れがある場合や、パンデミックの発生している場合は、訓練を中止する

4. 場所

中西地区全域の自治会員宅
中西地区内に災害対策本部を設置する

5. 主催

中西自治会連合会

6. 協力

各自治会の自主防災会および班長

7. 参加対象

中西地区の自治会員 約 1,400 世帯

8. 訓練想定

埼玉県中央部を震源とする大地震が発生し、熊谷市内は広い範囲で震度6弱以上となり、家屋の損傷や多数の負傷者が発生した
このため中西自治会連合会、各自治会の自主防災会は、直ちに中西地区内に地区災害対策本部を設置し、自治会員の安否確認を行い迅速な災害対応を実施する

9. 事前準備

安否確認を円滑に進めるため、事前に準備するもの

- ① 安否確認タオル（黄色）
- ② 災害時安否確認集計表（班長用）、災害時安否確認集計表（自治会長用）、災害時安否確認集計表（地区災害対策本部用）

③ 安否確認訓練参加チラシ(全世帯に回覧)

10. 安否確認の方法

自治会員、班長、自治会役員、地区災害対策本部役員は自身や家族の安全確保を図った後、次の行動を取る

(1)自治会員

本人、家族とも無事の場合は、安否確認タオル(黄色)を玄関先(ドアノブ等)または門扉など、班長が見やすい場所に掲示する

(2)班長(班長が当日不在の場合、前年度の班長にお願いする)

① 班内の自治会員の安否を確認する

② 安否確認タオル(黄色)を掲示していない自治会員宅を発見した場合は、自治会員宅を訪問し安否確認を速やかに行う(注)

③ 上記、安否確認状況を取りまとめて自治会長に報告する
災害時安否確認集計表(班長用)

(3)自治会長

班長より報告された安否確認状況を取りまとめ、地区災害対策本部へ報告する(災害時安否確認集計表)

(4)地区災害対策本部役員

地区災害対策本部へ参集し、それぞれ担当の災害用務を担当する

地区災害対策本部は中西地区全域の被災状況を集約し、対応策を検討するとともに市災害対策本部へ被害状況を報告する(災害時安否確認集計表)

(5)その他

デマ・風評に惑わされる事なく、正確な情報を迅速に提供し、住民に不安を与えないよう努める

11. 安否確認訓練の実施検証

中西防災委員会は安否確認訓練実施後、安否確認訓練に協力した組織の代表者を集め、安否確認訓練での問題点、反省点を洗い出し、次年度訓練の改善項目とする

また、安否確認訓練の結果は各自治会の自治会員にフィードバックする

○実際に地震が発生した場合は全世帯の安否確認後、避難が必要な状態であれば近隣住民と協力し、地区災害対策本部が指定する避難場所まで誘導する

○家屋が被災していて救助が必要な場合は、近隣住民や各自治会の自主防災会と協力して必要な救助活動等を行う

※避難が必要な状態とは次のような場合を言う

- ・地域住民から避難したい旨の申し出がある
- ・近隣の火災により延焼の危険がある
- ・自宅が倒壊するなどの被害を受けて、そこにとどまるのが危険である
- ・防災関連機関(市、消防、警察、マスコミ等)から避難指示がある

年 月 日 時 分現在

中西地区 自治会長あて

班名

班長名

災害時安否確認集計表(班長用)

世帯数	無事世帯		留守 (不在世帯)	要救助世帯
	タオル有	出し忘れ		
その他情報 <small>無事世帯の戸かけ係がタオルを提示した場合は「出し忘れ」に記入して下さい。 被災時には 要救助世帯の名前を記入して下さい。</small>				
『災害時安否確認集計表』による情報集約の流れ ①班長が各戸の被災状況を調査し、災害時安否確認集計表に記入し自治会長に報告します。 ②自治会長は各班長からの災害時安否確認集計表を集約し、中西地区災害対策本部へ報告します。 ③中西地区災害対策本部は地区内の被災状況を集約し、対応策を検討するとともに市災害対策本部へ報告します。 <small>※災害時安否確認集計表の情報は、市災害対策本部および中西地区災害対策本部による被災者支援や物資の配給などに役立てることになります。</small>				

被災時のため班長常時保管書類

令和 年 月 日

熊谷市災害対策本部長 殿

中西地区災害時安否確認訓練の結果は下記集計表のとおりでしたので報告いたします。

中西地区災害対策本部長

災害時安否確認集計表

自治会名	報告時間	世帯数	無事世帯		留守 (不在世帯)	要救助世帯	掲出率 %
			タオル有	出し忘れ			
中西第一自治会	:						
中西第二自治会	:						
中西第三自治会	:						
中西第四自治会	:						
中西第五自治会	:						
中西第六自治会	:						
中西第七自治会	:						
中西第八自治会	:						
合計	:						
その他情報 : 令和 年 月 日埼玉県中央部を震源地とする震度6弱の地震が9:00に発生したと想定しました。 不在世帯を除いた全体の安否確認タオル掲出率は %でした。							

災害時のための本部長常時保管書類

防災訓練実施要領

1. 名称
中西地区防災訓練
2. 目的
大地震(震度 6 弱以上)の発生時に地域住民が協力して、被災者を迅速かつ的確に支援できるよう訓練を行う
また、中西第一から第八自治会(以降は各自治会という)の自主防災会を中心被災者の支援体制を確立し、防災力の向上を図る
3. 日時
原則、毎年 6 月上旬の日曜日の 9 時から 12 時で行う(雨天決行)
やむをえない事情がある場合は、日時の変更を可とする
また、災害発生または異常気象等により災害が発生する恐れがある場合や、パンデミックの発生している場合は、訓練を中止する
4. 場所
熊谷東小学校校庭(雨天の場合は同校体育館)
5. 主催
中西自治会連合会
6. 協力
各自治会、中西元気くらぶ、社会福祉協議会、児童民生委員
7. 支援
熊谷市危機管理課、熊谷中央消防署、成田消防団、日本赤十字社等
8. 参加対象
中西地区の自治会員 約 1,400 世帯の住民を対象とする
9. 事前準備
防災訓練を円滑に進めるため事前に準備するもの
・訓練参加人数(大人、中学生、小学生、幼児)を調査する
・災害時避難集計表を準備する
・集団で避難する場合の集合場所を住民に周知する
・各自治会は避難ルートを複数決めておき、安全なルートを選定する
10. 訓練想定
6 月×日(日)の 9 時に埼玉県中央部を震源とする大地震が発生した
熊谷市内は広い範囲で、震度 6 弱以上となり、家屋の損傷や多数の負傷者が発生している

中西自治会連合会と各自治会の自主防災会は、直ちに地区災害対策本部を中西公園に設置し、中西地区の迅速な災害対応を実施する

11. 訓練実施項目

防災訓練の実施項目を以下に示す

- ① 情報収集・伝達訓練
- ② 消火訓練
- ③ 救出救護訓練
- ④ 避難訓練
- ⑤ 炊き出し訓練
- ⑥ その他

11.1 情報収集・伝達訓練

自治会長は担当者からの災害時避難集計表などから情報を収集・整理して地区災害対策本部へ報告する。地区災害対策本部は、自治会長からの情報を取りまとめ熊谷市危機管理課へ報告する

11.2 初期消火訓練

消火器を使用した消火訓練、バケツリレーによる消火訓練を行う

11.3 救出救護訓練

簡易担架を作成し、救出救護者を乗せて搬送する訓練を行う

訓練用人形を使用した心肺蘇生法訓練および AED 取り扱い訓練を行う

11.4 避難訓練

- ① 集合場所に集まった避難者へ避難時の注意点(注)を確認する
- ② 避難者名、避難者人数を確認する(災害時避難者集計表に記入)
- ③ 避難者が避難ルートに従い、無事に避難場所まで避難する訓練を行う
- ④ 避難行動要支援者が避難する場合は、民生委員と協力してサポートする
- ⑤ 避難者の避難が無事に完了した時点で、自治会長へ避難者数と避難時間を報告する(災害時避難者集計表に記入して提出)

(注)避難時の注意点を以下に示す

- ・家族の無事を確認したか
- ・家族に伝言が必要な場合に伝言メモを残しているか
- ・火元(ガスの元栓を閉める、ブレーカーを落とす)を確認したか
- ・携行品を用意しているか
- ・避難しやすい服装をしているか
- ・黄色いタオルを外から見やすい所に掲出し、戸締りをしているか

11.5 炊き出し訓練

大鍋、プロパンガスやコンロを使用した炊き出しの訓練を行う
(豚汁、おにぎり、すいとん、けんちんうどんなどを作る)
アルファ米などの非常食の調理方法を体験する
調理した食料を避難者に公平に配給する訓練する
なお、食料配給時には高齢者、乳幼児、アレルギー患者への対応も考慮する

11.6 その他

熊谷市役所危機管理課、熊谷中央消防署、埼玉県防災学習センター“そな一え”
(鴻巣市)と調整し、可能であれば防災訓練参加者に以下の体験をしてもらう

- ・起震車体験
- ・煙体験ハウス
- ・放水体験
- ・その他

12. 防災訓練の実施検証

中西防災委員会は防災訓練実施後、防災訓練に協力した組織の役員を集め、
防災訓練での問題点、反省点を洗い出し、次年度訓練の改善項目とする

令和 年 月 日 時 分現在

熊谷市災害対策本部長 殿

中西地区災害時防災訓練の結果は下記集計表の通りでしたので報告いたします。

中西地区災害対策本部長

避難場所：

災害時避難者集計表

自治会名	避難者数	大人	小中学生	幼児	備考
中西第一自治会					
中西第二自治会					
中西第三自治会					
中西第四自治会					
中西第五自治会					
中西第六自治会					
中西第七自治会					
中西第八自治会					
合計					

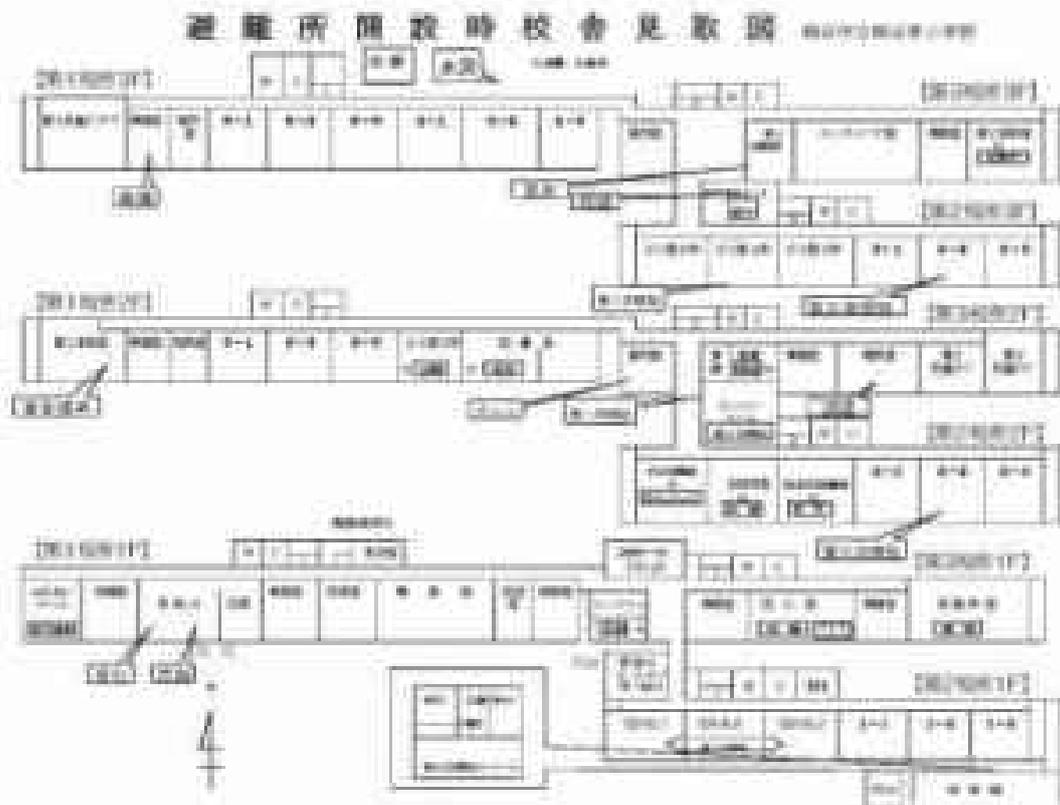
その他情報 埼玉県中央部を震源とする震度6弱の地震が9:00に発生したと想定しました。
各自治会集会所より徒歩車椅子リヤカーによる避難訓練を行い〇〇〇〇にて
防災訓練を行いました。

令和 年度 中西地区防災訓練・自治会別避難者集計表

令和 年 月 日 時 分現在

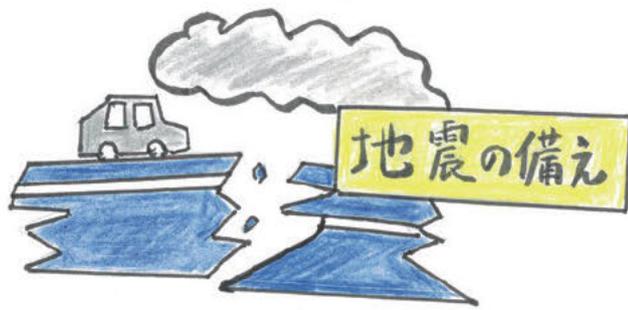
自治会名	中西第 自治会
集合場所	
避難場所	熊谷東小学校
避難誘導者名	
避難完了時刻	時 分

NO	班	氏名	総数	大人	小中学生	幼児	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
	合計						



中西地区防災計画策定委員			計画策定までの歩み	
役割	氏名	自治会名	令和1年11月6日	第1回防災計画実行委員会の開催
連合会長	■■■■	第 八		熊谷市危機管理課、基本事項説明
委員長	■■■■	第 五	令和1年12月4日	第2回防災計画策定委員会の開催
副委員長	■■■■	第 一		防災計画策定委員会と改称
書記	■■■■	第 三	令和2年1月28日	地区防災計画基本方針の決定
記録	■■■■	第 四		第3回防災計画策定委員会の開催
会計	■■■■	第 六	令和2年7月22日	策定委員会事務局の設置
監査	■■■■	第 二		第4回防災計画策定委員会の開催
委員	■■■■	第 三	令和2年8月30日	地区内アンケート調査結果報告
委員	■■■■	第 四		第5回防災計画策定委員会の開催
委員	■■■■	第 五	令和3年7月26日	地区防災マップ作成の調査開始
委員	■■■■	第 五		第1回災害時安否確認訓練の開始
委員	■■■■	第 六	令和6年3月24日	第6回防災計画策定委員会の開催
委員	■■■■	第 七		地区防災マップ試案の完成
委員	■■■■	第 八	令和6年6月19日	第7回防災計画策定委員会の開催
委員	■■■■	第 八		令和6年度の地区防災計画完成目標
委員	■■■■	第 八	令和6年10月20日	第8回防災計画策定委員会の開催
委員	■■■■	第 八		熊谷市市民活動支援センター 立正大学の協力
			令和7年2月	地区防災マップ試案の見直し
				第9回防災計画策定委員会の開催
			令和7年2月	中西地区防災計画書(案)の完成
				第10回防災計画策定委員会の開催
				中西地区防災計画完成の報告





地震の備え

転倒・落下・移動防止		けがの防止		家屋やへいの強度	
消火器具		火災発生の防止		非常用品	
防災マップ	地域の危険性	防災知識	防災訓練		

FMクマガヤ

87.6MHz

災害時
市内の情報はFMクマガヤで!



こちらから
スマホでも聞けます

災害時
避難所の開設状況

こちらから



中西地区防災訓練のお知らせ

自助・共助が災害時の基本です
声かけ合って防災力を高めよう

無事です!

中西自治会連合会

災害時

災害時安否確認訓練に参加しよう
門や玄関に黄色タオルを掲示しよう

災害用伝言版

171 の利用方法



2025年3月作成

作成：中西地区防災計画策定委員会
支援：熊谷市市民活動支援センター
地図：立正大学 田中陸都

挿絵：鈴木國昭（中西第三自治会）